



水俣の「競り舟」

「カーン、カーン」
海の潮満ちるとき、
毎年七月末、水俣川河口に不知火

水俣の夏は「競り舟」で開幕する。
九十年の伝統をもつ「競り舟」は、
明治の中期、中国南部地方の「龍舟」
が、長崎を経て水俣に伝えられたも
ので、別名「ペーロン」ともいう。

と鳴る鐘の音に合わせて、
十四のカイが青い海から白いし
ぶきを上げる。躍動する漕ぎ手の腕
に汗が光る。
今年の九州大会では上位を独占、
今年に続いて準優勝。水俣川の川面に映
る熊本男児の頼もしい姿である。

汗が光る。

白熱する。

炎天のムネ。

